

## 全国の渇水状況について

- |   |
|---|
| 1 四国地方 那賀川水系那賀川において、4月26日から取水制限<br>吉野川水系銅山川において、5月27日から取水制限 |
|---|

四国地方那賀川水系那賀川では、上流域における4月、5月の2ヶ月間の総降雨量が212mm(平年値の約40%)と少雨が続いています。  
長安口ダム及び小見野々ダムのこの時期に必要な利水確保容量約42,557千m<sup>3</sup>のところ、4月25日には約20,420千m<sup>3</sup>まで減少しました。このため、那賀川利水者会議は、4月26日9時から農業用水及び工業用水を15%カットする取水制限を開始しました。その後も、段階的な取水制限率の引き上げを行ってきましたが、5月30日には長安口ダム及び小見野々ダムの利水確保容量の約25%の約10,420千m<sup>3</sup>まで減少したため、5月31日9時から農業用水及び工業用水を40%カットする取水制限にまで至っています。これら一連の取水制限により、工業界では、5月27日時点で、総額約6億4千万円(出荷額ベース)の被害が出ています。

また、四国地方吉野川水系銅山川では、上流域における4月、5月の2ヶ月間の総降雨量が164mm(平年値の約46%)と少雨が続いています。富郷ダム、柳瀬ダム及び新宮ダムのこの時期に必要な利水確保容量約62,208千m<sup>3</sup>のところ、5月26日にはその60%を切り、37,131千m<sup>3</sup>まで減少しました。このため、銅山川渇水調整協議会は、5月27日0時から工業用水を20%カットする取水制限を開始しています。これにより、四国中央市の製紙工場では、リサイクル水の利用率を上げて操業が行われています。

2 中部地方 宮川水系宮川において、 5月18日から取水制限  
櫛田川水系櫛田川において、 5月20日から取水制限  
矢作川水系矢作川において、 6月 3日から取水制限

中部地方宮川水系宮川と隣接する櫛田川水系櫛田川では、ダムの上流域における4月、5月(31日現在)の2ヶ月間の総降雨量が約100mm～約120mm(平年比30%程度)と少雨が続き、<sup>みやがわ</sup>宮川ダムの利水確保容量約54,400千m<sup>3</sup>のところ、5月17日には約9,970千m<sup>3</sup>(貯水率18%)まで減少したため、宮川湯水調整協議会は、5月18日から農業用水を40%カットする取水制限を開始し、さらに5月31日からは45%に取水制限を強化しています。<sup>はちす</sup>蓮ダムについては利水確保容量約28,400千m<sup>3</sup>のところ、5月19日には約4,300千m<sup>3</sup>(貯水率15%)まで減少しました。このため、櫛田川湯水調整協議会は、5月20日から農業用水を40%以上カットする取水制限、さらに26日からは工業用水について20%カット、一部水道用水について10%をカットする取水制限を開始しています。

また、中部地方矢作川水系矢作川では、上流域における4月、5月(31日現在)の2ヶ月間の総降雨量が144mm(平年比35%程度)と少雨が続き、<sup>やはぎ</sup>矢作ダムの利水確保容量約50,000千m<sup>3</sup>のところ、6月1日には、約23,500千m<sup>3</sup>(貯水率47%)まで減少しました。このため、矢作川水利調整協議会は、6月3日9時から水道用水を10%、工業用水を30%、農業用水を20%カットする取水制限を開始しています。今後とも雨が降らない状況が続き、給水制限に入った場合、愛知県6市6町が影響を受けることとなります。